

の議案審査

町長提出議案は、総務建設産業常任委員会に5件、文教民生常任委員会に2件がそれぞれ付託され、すべて「原案可決すべきもの」との審査結果になりました。



総合センター耐震補強工事を視察

《主な審議事項》

行政施策の総合企画調整、予算、行財政運営、情報公開、職員、交通安全、防犯、防災、町税の賦課徴収、住民相談、消防、救急、農業および商工業、区画整理、道路河川、建築関係

総務建設産業常任委員会

平成26年度伊奈町一般会計補正予算(第5号)

問

県支出金に、高齢者と地域のつながり再生事業として、49万5千円補正されている。その事業内容は、

答

歳出で補正している、避難行動支援者台帳管理システム導入事業に対し交付される補助金で、全額補助される。

問

国庫支出金で、社会資本整備総合交付金として、総合センター耐震工事で補助金が出ている。小中学校の耐震工事も国庫補助の対象になるのか。

答

学校の耐震補助は文部科学省の補助金を利用している。

問

国庫支出金にマイナンバー制度システム整備費補助金がある。対象者数と状況は。

答

対象者は、住民基本台帳に登録されている方で12桁の番号を振り、全国で名寄せができることを目的とし、社会保障、税、防災の分野に提供されるサービスである。予算の状況は、歳出の電子計算費の負担金98万1千円と、障害者福祉事務費196万円の



総合センター耐震工事施工状況を確認

伊奈町職員定数条例の一部を改正する条例

問

教育委員会部局で11人減、町長部局で15人増となるが、事務が変わるのか。

答

定数条例人数は変わるが、事務は変わらない。人数減は、ゆめくると図書館の管理を

3分の2の、130万6千円を合計した228万7千円が補正される。

公の施設の指定管理者の指定について

問

指定管理者選考の選定委員人数、持ち点は、何項目採点したのか。

答

選定委員は職員、副町長以下6名、民間から3名の9名で、一人の持ち点は120点、評価項目は24項目で評価している。

《主な審議事項》

町民の諸証明、国民健康保険、介護保険、医療、予防接種、各種検診、社会福祉、児童福祉、母子保健、保育、子育て支援、人権、水道事業、環境衛生、学校教育、社会教育、生涯学習、学校給食関係

文教民生常任委員会

常任委員会



新小針北児童クラブ建設工事現場を視察

平成26年度伊奈町
一般会計補正予算
(第5号)

問

答

保健衛生費の予防費の内容と人数は、定期予防接種が2つふえ、ポリオ予

防接種の副反応に対し健康被害負担金が増となつ

た。
水ぼうそう

予防接種対象人数は、1歳から3歳未満が842人。今年の経過措置で、3歳から5歳未満が943人。(全員分ではなく、3歳までは8割の670人、3歳から5歳までは5割の470人) 接種見込み対象者を千140人とした。

高齢者肺炎球菌

対象者は2千42人。接種見込み者数は千人と考えている。

伊奈町総合振興計画を定めることについて

問

答

9月議会の全員協議会で質疑を受け、修正したところはあるのか。

若干変更している。

第3章の第4節、質の高い学校教育を推進するための環境の充実の施策の3点目、学習環境の整備・充実のところ、表現が規模の適正化に誤

解を招くとの指摘に対し訂正している。その他、文言の整理、指標についても各担当で全て見直し、何点かわかりやすい形で整理した。大きな変更は2点。第3章の第6節、生涯にわたる学びの支援とスポーツの推進の中の、学び合いの生涯学習の推進に「図書館機能の充実」を加えた。第4章の第6節に、まちのにぎわいをつくる事業活動の活性化

の中の施策に「就労者支援及び勤労者福祉の充実」を加えた。

問

答

区画整理の計画はあるのか。

公共施行の大きな区画整理の計画はない。個人施行の細かいものは、今後出てくる可能性はあると考えているが、現時点では不明である。



竣工がまたれる新小針北児童クラブ